

I 生涯教育事業

* 定期公開講座

* 自主講座

* 語学講座

* リカレント教育プログラム

* 開放授業

* 公民館講座

* その他講座・講演・講義

令和5(2023)年 定期公開講座

令和5年度 定期公開講座			
*全体テーマ 「ポスト・コロナ時代」の宿題～IT・つながり・地域社会			
講義	日時	講座演題	講師
第1回	9月29日 (金)	開講あいさつ	学長 辻 利則
	18:30 ～ 20:00	「AIなどITの進展で、できること、できないこと」	宮崎公立大学 学長 辻 利則
第2回	10月6日 (金)	「つながりの再構築とコロナ禍からの立ち直り」	宮崎公立大学 教授 川瀬 隆千
第3回	10月13日 (金)	「個とつながりによりそうデザイン」	宮崎公立大学 准教授 井田 志乃
第4回	10月27日 (金)	「ポストコロナ期における学力と学びのあり方」	宮崎公立大学 教授 野崎 秀正
第5回	11月10日 (金)	「IT・つながり・学び～地域が<リスク社会> を乗り越えるために～」	宮崎公立大学 准教授 梅津 顕一郎
	18:30 ～ 20:00	閉講あいさつ	川瀬 地域研究センター長

宮崎公立大学 定期公開講座 (第1回講座 / 全5回)

実施日時	令和5年9月29日(金) 18時30分～20時00分
会場	宮崎公立大学 103大講義室
受講料	無料
対象者	主に高校生以上
募集定員	100名
受講者	対面：33名 オンライン：22名
配付資料等	各講座資料等
担当講師	演 題
宮崎公立大学 学長 辻 利則	「AI など IT の進展で、できること、できないこと」

【講座内容】

最近盛り上がりを見せているのがAI (Artificial Intelligence : 人工知能)。1950年代から研究が始まり、現在は3度目のブーム。私はChatGPTを使っていますが、人間のような自然な文章、プログラムコードの質問に対する的確な回答には頭が下がります。自然言語処理技術は、学習した文の単語の順を統計的に処理し、単語の組合せの高い確率の順に文を作るので、勝手に造語を作るときもあって注意が必要です。講座ではAI技術を使ったネットワークのお話をし、「情報伝達手段は時代と共に変わったが、伝えたいことは古墳時代と変わらない」と古墳時代を研究されている先生の言われたことについて考えてみたいと思います。いずれにしてもそれぞれの価値を理解し、そのバランスを取ることが、より豊かな生活を手に入れることになると思います。・ ・

【受講者感想 ※アンケートから抜粋】

- ・これまで Chat GPT に対しては、怖い、使うとやばいというマイナスなイメージしかありませんでしたが、辻先生のお話を聞いて、実際に使ってみたい、うまく活用してみたいという気持ちになりました。
- ・実際にAI関連の話を聞き、ひととAIをうまく活用すれば有益なものになるという事が分かりました。



宮崎公立大学 定期公開講座 (第2回講座 / 全5回)

実施日時	令和5年10月6日(金) 18時30分～20時00分
会場	宮崎公立大学 103大講義室
受講料	無料
対象者	主に高校生以上
募集定員	100名
受講者	対面：28名 オンライン：24名
配付資料等	各講座資料等

担当講師	演題
宮崎公立大学 教授 川瀬 隆千	「つながりの再構築とコロナ禍からの立ち直り」

【講座内容】

新型コロナウイルス感染症は人間社会への脅威であった。自粛警察やマスク警察のように、感染者への非難、医療従事者への差別的な行動などがあつた。感染予防対策としてのリモートワークやオンライン授業、ソーシャルディスタンスは、結果として、人々の孤立をいっそう深めた。新型コロナウイルス感染症は私たちを互いに敵対させて分断し、孤立させたのである。

しかし、これらの問題は私たちの社会がずっと抱えていたことである。コロナは私たちの社会が以前から抱えていた問題を炙り出したと言ってもよい。

コロナに限らず、人間社会への脅威は将来再び生じるだろう。その時、私たちが脅威に立ち向かい、そこから立ち直るためには、私たち自身がしなやかな回復力を身につけておく必要がある。分断や孤立はなぜ起こったのか、その原因を検討し、分断や孤立を防ぐ方策を考えなければならない。今回の講座では、コロナが残した宿題に心理学の観点からこたえようと思う。

【受講者感想 ※アンケートから抜粋】

- ・コロナがあつたからこそ、私たちの社会、生活を見直すことが出来たというお話に納得しました。心理学の観点からご教示いただき、新しく知ることも多かったです。
- ・コロナ禍における人間の行動や心理の特徴を社会心理学の理論からわかりやすく説明していただき興味深かったです。
- ・この講座をきっかけに、これから更にレジリエンスを身につける努力をしたいと思います。



宮崎公立大学 定期公開講座 (第3回講座 / 全5回)

実施日時	令和5年10月13日(金) 18時30分～20時00分
会場	宮崎公立大学 103大講義室
受講料	無料
対象者	主に高校生以上
募集定員	100名
受講者	対面：23名 オンライン：配信なし
配付資料等	各講座資料等
担当講師	演 題
宮崎公立大学 准教授 井田 志乃	「個とつながりによりそうデザイン」

【講座内容】

2010年前後から「スペキュラティブ・デザイン」といわれるデザインに対する態度への関心が高まり、日本においても2010年代半ばから目にする機会が多くなりました。イギリスの美術大学で教鞭をとっていたデザイナーが提唱した「スペキュラティブ・デザイン」では、従来の問題解決を主な目的とするデザインとは異なり、物事の可能性を思索するための手段としてデザインを用います。

本講座では、コロナ禍を経験した世界における生活様式やつながりの在り方を考える手がかりとしていただくために、隣接した手法や思考法等を踏まえながら具体例とともに「スペキュラティブ・デザイン」とは何かを確認していきます。さらに、宮崎公立大学の学生がコロナ禍で、またコロナ禍を経験したその後の世界について、思い描いた未来のための提案内容を紹介し、ウィズ・コロナ、ポスト・コロナ時代の望ましい世界を考える機会としていただきたいと思います。

【受講者感想 ※アンケートから抜粋】

- ・ スペキュラティブデザインについて、未来の可能性を提示して考えさせるというだけでなく、反対に現実を突きつけることにもなりうるというのが印象的でした。あっという間で楽しい時間でした。
- ・ 望ましい未来を考えるスペキュラティブデザインを知ることができて良かったです。自分自身でも調べて詳しく考えたいと思いました。
- ・ グッドデザイン賞について初めて詳しい話を聞くことができました。



宮崎公立大学 定期公開講座 (第 4 回講座 / 全 5 回)

実施日時	令和 5 年 10 月 27 日 (金) 18 時 30 分～20 時 00 分
会 場	宮崎公立大学 103 大講義室
受講料	無料
対象者	主に高校生以上
募集定員	100 名
受講者	対面：23 名 オンライン：14 名
配付資料等	各講座資料等

担 当 講 師	演 題
宮崎公立大学 教授 野崎 秀正	「ポストコロナ期における学力と学びのあり方」

【講座内容】

2020 年は、新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の感染拡大により、私達のそれまでの日常や生活様式が一変するはじまりの年であった。日本政府は、同年 3 月に全国の学校に臨時休校を要請し、そのほとんどは同年 5 月末までの臨時休校措置をとることとなった。つまり、2020 年度の学校教育は一斉休校という前代未聞の状況から始まったわけであるが、この年は、実は小学校を皮切りに新しい学習指導要領の全面実施が始まった年であり、国がかつてない教育改革のスタートとして位置づけていた年でもあった。こうした教育改革の背景には、Society5.0 とも呼ばれる不確実で複雑な時代に必要となる能力の特定とそれを育てるための新たな教育の提案という学力観や教育観の転換があったが、コロナ禍における生活様式や価値観の変化は、奇しくもこうした予測を体現した出来事となった。例えば、学校におけるオンライン授業をはじめとする教育のデジタル化は、皮肉にもコロナ禍の状況で飛躍的に推進した。そして、ポストコロナ期ともいえる現在、私達はニューノーマル (新たな日常) への移行とそれに伴う学校教育の構築という大きな転換点に再び立っているといえる。この講座では、コロナ禍以前から国が進めていた教育改革の目的とその背景、そしてコロナ禍を経験することにより見えてきた新たな教育課題から、ポストコロナ期と呼ばれるこれからの時代において必要な学校教育のあり方について考える。

【受講者感想 ※アンケートから抜粋】

- ・子供、孫を育てた経験をふりかえりながら、講義を聞きました。そして「これで良かったのだ」と安心しました。



宮崎公立大学 定期公開講座 (第 5 回講座 / 全 5 回)

実施日時	令和 5 年 11 月 10 日 (金) 18 時 30 分～20 時 00 分
会 場	宮崎公立大学 103 大講義室
受 講 料	無料
対 象 者	主に高校生以上
募集定員	100 名
受 講 者	対面 : 22 名 オンライン : 19 名
配付資料等	各講座資料等

担 当 講 師	演 題
宮崎公立大学 准教授 梅津 顕一郎	「IT・つながり・学び～地域が<リスク社会> を乗り越えるために～」

【講座内容】

2020 年以降の新型コロナウイルスの感染拡大は、現代の社会の大きな仕組みに係る弱点を、改めて私たちに実感させる出来事でした。一見自由で豊かな生活が、個人、あるいは個々の集団の幸福と、社会全体の幸福との「危うい」バランスの上に成り立っていること、そしてそのような「危うさ」は、地球規模でいたるところに存在していることを、改めて実感させられた方も多いと思います。

環境問題、国家間の争い、多面的な価値の共存。コロナ禍だけでなく、地域社会における私たちの生活は、人類全体で取り組むべき難題と常に連なって成り立っています。では、ポストコロナ禍ともいべきこれからの課題に地域社会はどう取り組めばよいのでしょうか。

最終回では、これまでの講義内容を踏まえながら、社会学者 U. ベックがかつて提唱した「社会的リスクの再分配」という観点から考えていきます。

【受講者感想 ※アンケートから抜粋】

- ・私は今回のテーマに入っているリスク社会の意味が全く分からずに参加をしたけど知識が無くても講義についていけてよかったです。
- ・全部の日程を聞き終えたいま、学問を通して倫理観や Be (自分はどうありたいか) を自問する経験ができてよかったです。公立大の未来ある学生さんがこのような高品質な教養をうけていることがわかり、高齢者の私は心強く感じております。



令和5年度 宮崎公立大学 定期公開講座

受講料 無料
事前予約制

統一テーマ

「ポスト・コロナ時代」の宿題 ～IT・つながり・地域社会

広く地域に開かれた大学として、生涯学習の振興及び文化の向上に貢献することを目的に、公開講座を開講します。今年度はメディア・コミュニケーション専攻所属の教員が講師となり全5回の講座を実施します。(4講座はzoomライブ配信あり)この機会に本学の講座を体験してみませんか？

【日程】

令和5年9月29日～11月10日
全5回・毎週金曜日(10月20日、祝日は除く)

【時間】

18時30分～20時

【会場】

宮崎公立大学 103大講義室及び
オンライン(zoomによるライブ配信)
※zoomのURL及びパスワードは前日までに
メールにてお知らせします。

【定員】

200名(事前予約制)

詳しくは本学ホームページを
ご覧ください。

宮崎公立大学



申込フォーム



【担当講師】

- ・第1回 辻 利則
宮崎公立大学 学長
- ・第2回 川瀬 隆千
宮崎公立大学 教授
- ・第3回 井田 志乃
宮崎公立大学 准教授
- ・第4回 野崎 秀正
宮崎公立大学 教授
- ・第5回 梅津 顕一郎
宮崎公立大学 准教授

注
意
事
項

- ※事前予約制といたします。
- ※お申込み受付後、特にご連絡は致しませんので、当日会場にお越しください。
- ※ご予約のない方の当日受け付けはいたしませんので、予めご了承ください。
- ※台風・災害等で講座を中止する場合は、本学ホームページで案内します。
- ※zoomの利用方法等について、本学による説明や技術的なサポートは致しかねます。

宮崎公立大学 地域研究センター

定期公開講座フライヤー

令和5年度 宮崎公立大学 定期公開講座

テーマ：各日程のテーマ・講師



第1回
9/29
(金)

「AIなどITの進展で、できること、できないこと」
宮崎公立大学 学長 辻 利則



第2回
10/6
(金)

「つながりの再構築とコロナ禍からの立ち直り」
宮崎公立大学 教授 川瀬 隆千

第3回
10/13
(金)

「個とつながりによりそうデザイン」
宮崎公立大学 准教授 井田 志乃



第4回
10/27
(金)

「ポストコロナ期における学力と学びのあり方」
宮崎公立大学 教授 野崎 秀正



第5回
11/10
(金)

「IT・つながり・学び～地域が<リスク社会>を乗り越えるために～」
宮崎公立大学 准教授 梅津 顕一郎

※zoomのURL及びパスワードは前日までにメールにてお知らせします。

申込方法

(講座期間中も受け付けいたします。1講座だけの受講も可能です。)

郵便・FAX・Googleフォームのいずれかの方法で、
以下の事項を宮崎公立大学地域研究センター宛、お申込みください。

- ①受講希望日 ②対面希望・オンライン希望 ③氏名(ふりがな)
④連絡が取れる電話番号 ⑤メールアドレス

注意
事項

- ※事前予約制といたします。
- ※お申込み受付後、特にご連絡は致しませんので、当日会場にお越しください。
- ※ご予約のない方の当日受け付けはいたしませんので、予めご了承ください。
- ※台風・災害等で講座を中止する場合は、本学のホームページで案内します。
- ※zoomの利用方法等について、本学による説明や技術的なサポートは致しかねます。

お申込み・お問合せ先

宮崎公立大学地域研究センター

〒880-8520 宮崎市船塚1丁目58 凌雲会館2階

TEL：0985-20-4772 FAX：0985-20-4773

メール：mmukoza@miyazaki-mu.ac.jp

受付時間：平日9:00～17:00

